

(法第28条第1項関係様式)

令和6年事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(法人の名称： 特定非営利活動法人 J A Z Z Y D O G L I F E)

1 事業の成果

「放棄された動物の保護並びに新しい飼い主を探す支援事業」
本年度は、前年度に長野県内の動物保護団体から引き継いだ大型犬1頭、神奈川県内の保護団体から引き継いだトイプードル1頭、佐久保健所に飼育放棄された大型犬1頭の計3頭について、新たな飼い主へ譲渡することができました。
また、3月には長野県内の社会福祉法人より相談を受け、13歳の大型犬1頭を引き取りました。現在は、やせ細った身体のケアを行いながら里親募集を進めています。
加えて、前年度開設した能登半島地震により被災されたご家族の犬たちを、一時的にお預かりする「犬の避難所」を現在も継続して運営中です。
自然災害の発生時でも「動物は家族」として放棄されることがないように、仕組みづくりを行い、「大切な命、放棄しない・させない社会づくり」という当団体の目標の実現に向けて取り組んでいます。被災者支援の一助となることも目指しています。

「動物愛護・福祉・適正飼養の普及啓発に関する事業」
SNS を活用し、誰でも気軽に閲覧・学習できる啓発スライドを作成しました。さらに、他団体のイベントや譲渡会場、動物病院、協力店舗などにパンフレットを設置し、多くの方々に当団体の活動を知っていただく機会を得ることができました。
1 月には群馬県の G メッセで開催されたドッグイベントに参加し、啓発パネルの展示およびパンフレットの配布を通じて、来場者への活動周知・啓発活動を行いました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:千円)
放棄された動物の保護並びに新しい飼い主を探す支援事業	放棄された動物を引き取り、必要な医療処置と家庭で暮らす練習を行い、新しい飼い主に譲渡するまで適正飼養し管理する施設運営と災害時の犬の避難所運営。	(A) 通年 (B) 法人事業所、民間施設 (C) 9 人	(D) 長野県を中心に動物保護活動や災害時のボランティアに関心のある市民 (E) 不特定多数	2 3 5 5

	ホームページやSNSにて保護動物や里親募集の情報発信を行いました。犬の避難所発信では犬たちの様子や被災者の現状を発信。	(A) 通年 (B) 法人事業所 (C) 5人	(D) 長野県を中心に動物保護活動や災害ボランティアに関心のある市民 (E) 不特定多数	
	譲渡会の参加	(A) 4回 (B) 公共施設、民間施設 (C) 9人	(D) 長野県を中心に保護動物を迎えたい市民 (E) 不特定多数	
動物愛護・福祉・適正飼養の普及啓発に関する事業	パネルによる啓発活動。	(A) 7回 (B) 動物病院、企業等の店頭、イベントに設置 (C) 9人	(D) 長野県を中心に動物保護活動のある市民、ない市民 (E) 不特定多数	110
	動物愛護・福祉・適正飼養に関するスライドを発信	(A) 6回 (B) 法人事務所、民間施設 (C) 9人	(D) 長野県を中心に犬に興味のある市民 (E) 800人	
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	実施なし			0

(法第28条第1項関係様式)

令和6年度 活動計算書

会計年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

(法人の名称： 特定非営利活動法人 J A Z Z Y D O G L I F E)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取年会費	41,000		
賛助会員受取年会費		41,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	2,167,832	2,167,832	
3 受取負担金			
医療費飼い主負担金	50,000	50,000	
4 事業収益			
放棄された動物の保護並びに新しい飼い主を探す支援事業収益	0		
動物愛護・福祉・適正飼養の普及啓発に関する事業収益	0	0	
5 その他収益			
受取利息	341	341	
雑収益	9,234	9,234	
経常収益 計			2,268,407
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
人件費 計		0	
(2) その他経費			
医療費	548,498		
ドッグフード代	475,174		
消耗品費	314,400		
車両費	589,632		
通信運搬費	39,405		
会議費	25,995		
地代家賃	60,000		
水道光熱費	36,613		
諸会費	2,950		
新聞図書費	990		
印刷製本費	41,921		
雑費	225,425		
保険料	13,680		

支払手数料	8,300		
旅費交通費	82,410		
減価償却費			
その他経費 計		2,465,393	
事業費 計			2,465,393
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
人件費 計		0	
(2) その他経費			
会議費	0		
保険料	35,055		
地代家賃	60,000		
水道光熱費	0		
消耗品費	4,660		
通信運搬費	26,136		
渉外費	0		
租税公課	49		
諸会費	21,150		
業務委託費	0		
支払手数料	36,382		
雑費	0		
その他経費 計		183,432	
管理費 計			183,432
経常費用 計			2,648,825
当期経常増減額			△380,418
Ⅲ 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
		0	
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
		0	
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期正味財産増減額			△380,418
前期繰越正味財産額			833,570
次期繰越正味財産額			453,152

令和6年度 貸借対照表

令和7年3月31日(=会計年度の末日)現在

(法人の名称: 特定非営利活動法人 J A Z Z Y D O G L I F E)

(単位: 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	517,187		
未収金	0		
	0		
流動資産合計		517,187	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産	0		
	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産	0		
	0		
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			① 517,187
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	64,035		
流動負債合計		64,035	
2 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			64,035
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		833,570	833,570
当期正味財産増減額		△380,418	△380,418
正味財産合計			③ 453,152
負債及び正味財産合計			② 517,187

(記載上の注意事項) ※この事項は、提出する様式に記載する必要はありません。

1 ①と②の額は一致します。

2 ③の額は、「活動計算書」の「次期繰越正味財産額」及び「財産目録」の「正味財産」と一致します。

(法第28条第1項関係様式)

財 産 目 録

令和7年3月31日(＝会計年度の末日)現在

(法人の名称：特定非営利活動法人 J A Z Z Y D O G L I F E)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	8,336		
住信SBIネット銀行普通預金	508,851		
	0		
流動資産合計		517,187	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
	0		
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			517,187
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
クレジットカード	64,035		
流動負債合計		64,035	
2 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			64,035
正味財産			① 453,152

(記載上の注意事項) ※この事項は、提出する様式に記載する必要はありません。

①の額は、「活動計算書」の「次期繰越正味財産額」及び「貸借対照表」の「正味財産合計額」と一致します。

(法第10条第1項関係様式)

令和7年度事業計画書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(法人の名称： 特定非営利活動法人 J A Z Z Y D O G L I F E)

1 事業実施の方針

当法人では、発信力と影響力の向上を図りながら、「動物愛護・福祉・適正飼養の普及啓発に関する事業」を重点事業として位置づけて取り組みます。

動物の適正飼養および終生飼養の重要性が社会に広く認知されることにより、安易な飼育放棄の抑止につながり、結果的に保健所や愛護センターへの収容数の減少、さらには殺処分の削減にも貢献できると考えています。

具体的な取り組みとしては、活動内容を紹介するリーフレットの配布、ホームページやSNSを活用した積極的な情報発信、誰でも参加しやすいセミナーの開催などを予定しています。

また、「放棄された動物の保護並びに新しい飼い主を探す支援事業」では、新たに整備した飼養施設にてボランティアの受け入れを開始し、見学や参加がしやすい場として活用することで、活動の充実を図ります。

さらに、継続中の「犬の避難所」については、能登半島地震のような自然災害時において、被災されたご家族が安心して避難生活を送れるよう支援を続けていきます。

実際に被災者の犬をお預かりしている経験を活かし、ペット防災に関する啓発活動にも今後一層力を入れてまいります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施予定日時 (B) 当該事業の 実施予定場所 (C) 従事者の 予定人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 予定人数	事業費の 予算額 (単位: 千 円)
放棄された動物の保護 並びに新しい飼い主を 探す支援事業	放棄された動物を 引き取り、必要な医 療処置と家庭で暮 らす練習を行い、新 しい飼い主に譲渡 するまで適正飼養 し管理する施設運 営と災害時の犬の 避難所開設。	(A) 通年 (B) 法人事業所、民 間施設 (C) 5人	(D) 長野県を中 心に動物保 護活動に関 心のある市 民 (E) 不特定多数	2400
	ホームページや SNSにて保護動物 や里親募集の情報 発信。	(A) 通年 (B) 法人事業所 (C) 5人	(D) 長野県を中 心に動物保 護活動に関 心のある市 民 (E) 不特定多数	

	譲渡会の開催	(A)年6回 (B)法人事業所、公共施設、民間施設 (C)10人	(D)長野県を中心に保護動物を迎えたい市民 (E)300	
動物愛護・福祉・適正飼養の普及啓発に関する事業	活動リーフレットの配布。	(A)通年 (B)動物病院、企業等の店頭設置 (C)10人	(D)長野県を中心に動物保護活動のある市民、ない市民 (E)2000人	241
	動物愛護・福祉・適正飼養に関する啓発活動の実地	(A)年2回 (B)法人事務所、民間施設 (C)10人	(D)長野県を中心に犬に興味のある市民 (E)50人×2回	
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	実施予定なし			

(法第28条第1項関係様式)

令和7年度 活動予算書

会計年度：令和7年4月1日～令和8年3月31日まで

(法人の名称： 特定非営利活動法人 J A Z Z Y D O G L I F E)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取年会費	41,000		
賛助会員受取年会費		41,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	3,000,000	3,000,000	
3 受取負担金			
医療費飼い主負担金	100,000	100,000	
4 事業収益			
放棄された動物の保護並びに新しい飼い主を探す支援事業収益	0		
動物愛護・福祉・適正飼養の普及啓発に関する事業収益	0	0	
5 その他収益			
受取利息	0	0	
経常収益 計			3,141,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
人件費 計		0	
(2) その他経費			
医療費	500,000		
ドッグフード代	300,000		
消耗品費	250,000		
車両費	200,000		
通信運搬費	30,000		
会議費	20,000		
地代家賃	600,000		
水道光熱費	120,000		
諸謝金	0		
修繕費	0		
印刷製本費	30,000		
雑費	120,000		
保険料	13,680		
支払手数料	9,000		

旅費交通費	90,000		
減価償却費	0		
新聞図書費	1,000		
その他経費 計		2,283,680	
事業費 計			2,283,680
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
人件費 計		0	
(2) その他経費			
会議費	0		
車両費	0		
地代家賃	600,000		
水道光熱費	120,000		
消耗品費	24,000		
通信運搬費	26,000		
渉外費	0		
租税公課	0		
諸会費	18,000		
業務委託費	0		
支払手数料	40,000		
雑費	0		
その他経費 計		828,000	
管理費 計			828,000
経常費用 計			3,111,680
当期経常増減額			29,320
Ⅲ 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
		0	
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
		0	
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期正味財産増減額			29,320
前期繰越正味財産額			△380,418
次期繰越正味財産額			△351,098